

2020年5月作成（第1版）

イミダフェナシン錠 0.1mg 「YD」 の 溶出試験について

共創未来ファーマ株式会社

溶出比較試験

「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン(平成9年12月22日付医薬審査発第487号、平成24年2月29日付薬食審査発0229第10号一部改正)」

<試験方法>

装置 : パドル法

試験液量 : 900mL

温度 : 37±0.5℃

回転数 : 50回転

試験液 : pH1.2 = 日本薬局方溶出試験第1液

pH5.0 = 薄めた McIlvaine の緩衝液

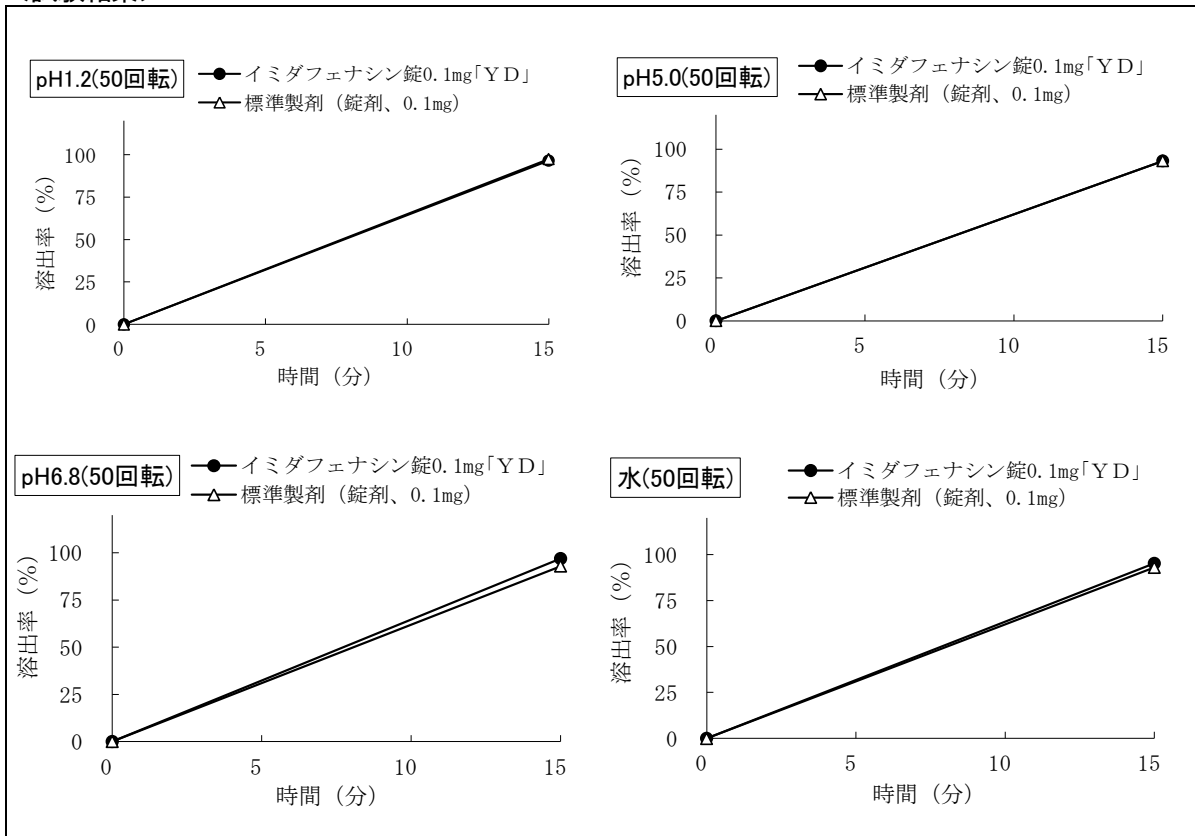
pH6.8 = 日本薬局方溶出試験第2液

水 = 日本薬局方精製水

判定基準 : [pH1.2、pH5.0、pH6.8、水]

標準製剤が15分以内に平均85%以上溶出する場合、試験製剤が15分以内に平均85%以上溶出するか、又は15分における試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にある。

<試験結果>



製造販売元
 株式会社 陽進堂
富山県富山市婦中町萩島3697番地8号

販売元
 共創未来ファーマ株式会社
東京都品川区広町1-4-4